

事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-50	講座名	春日井築水の周りの自然と保全
記載日	2022/4/1	団体名・企業名	かすがい東部丘陵自然観察会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

第1回は、チョウの調査法の講義と実地体験です。かすがい東部丘陵で実施している、NACS-Jのモニタリング1000里地調査の方法を解説し、野外に出て実地体験を行いました。ところが、お子さん連れもあり、詳しい見分け方は一寸おいておいて、チョウや昆虫を見ることが中心になりました。第2回は、早春の森の生き物探しです。築水池周りでは、シデコブシが多くあり、その観察をと思っていました。ところが今年は寒い3月だったので、開花が遅く、咲き始めになってしまいました。また天気はがはじめは曇りのち雨。雨の予報だったので、欠席の連絡もありました。子供連れが1グループ。子供たちもいることで、1時間ほど早く駐車場で解散にしました。写真は、雨のため第1回めのみです。



※写真1の説明

チョウの観察風景

※写真2の説明

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

対象の方については、もう少し考えてやっていくことが大事ななあと思います。例えばチョウの観察だけでは、難しい解説になりやすく子供たちの参加があるので、内容を広く考えておくことが大切だと思いました。また、大人対象のリーダーと子供対象のサブリーダーとに分けながら実施することや、観察にはかすがい東部丘陵自然観察会のメンバーも参加してくれているのでより小さいグループができてもいいのかなあとも思い、かすがい東部丘陵自然観察会としての取り組みも全体で考えることが大切なのかなあと思っています。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

チョウの観察では、座学で見分け方を教えてもらい、フィールドでの観察において違いを見分けることができた大人の方からはご意見をいただきました。子供たちにはサブの方が付き添うことができよかったと思います。子供たちには、先生の教え方には△でしたが・・・。早春の生き物では、前に書いたような状態で、シデコブシも少し、天気が良くないので、ハルリンドウもひらいていない、でもイワナシの開花が見られました。イワナシは日本側に分布するとあり、このあたりで見られることは少ない植物です。大人にはちょっと盛り上がっていました。